

豊田景気実感調査



Viewing over Our Toyota's Economic Condition

第23号

発行日 2022.12.12

令和4年11月調査結果

“豊田の景況感、寒空の様相が色濃く引き続き足踏み状態”

| | 現状判断DI | | | | 先行き判断DI | | | | 水準判断DI | | | |
|----|--------|------|------|------|---------|------|------|------|--------|------|------|------|
| | 家計 | 企業 | 雇用 | 総合 | 家計 | 企業 | 雇用 | 総合 | 家計 | 企業 | 雇用 | 総合 |
| 豊田 | 44.8 | 42.7 | 46.7 | 44.1 | 42.7 | 43.2 | 48.3 | 43.3 | 36.6 | 36.7 | 48.3 | 37.4 |
| 全国 | 48.3 | 47.3 | 48.3 | 48.1 | 44.3 | 46.3 | 47.7 | 45.1 | 42.4 | 45.0 | 49.4 | 43.7 |
| 東海 | 52.0 | - | - | 47.6 | 44.2 | - | - | 42.5 | 46.3 | - | - | 41.6 |

※全国、東海は内閣府11月調査 【天気図の見方】 DI値 ☀️ 大きな晴れ：60点以上 / ☀️ 晴れ：50～60点未満 / ☁️ 曇：40～50点未満 / 🌧️ 雨：40点未満

令和4年11月 調査結果総括

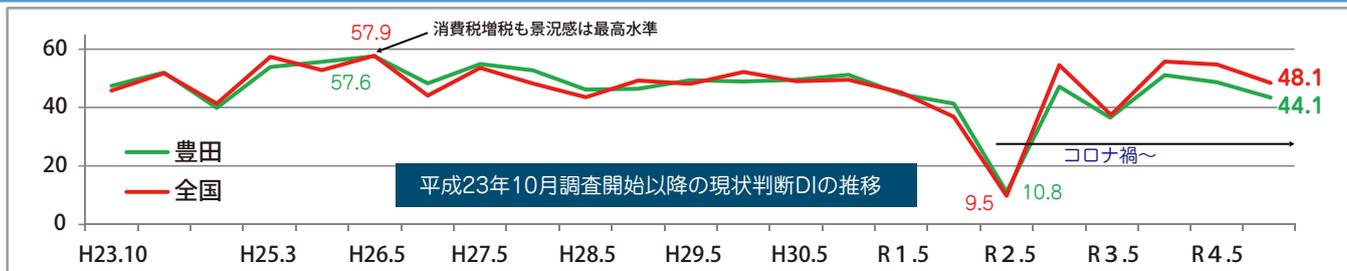
現状の豊田における景況感は、様々なモノの値上がりに伴う消費抑制行動の影響（With コロナの消費行動へのプラスの影響も限定的な様子）により、厳しさが増している様子が全国比で見た上表の天気図からも窺えます。

先行き見通しについても、円安に伴う資源価格の高騰や人手不足による人件費高騰を要因として、楽観視出来る状況にないことが景気モニターの声からも窺えます。 ※クルマの街である豊田においては、燃料費高騰による先行き不安が鮮明に確認されている。

いずれも直ちに是正出来る問題ではなく、景況感を慎重に見る傾向の強い豊田において厳しい状態が続くことが予想されます。

令和4年11月 特別調査結果

- 所得見直し・お小遣い等は、モノの値上がりに伴う実質賃金の目減り感が影響していることが想定される中、24.4%の景気モニターが「減っている」と回答されており、コロナ禍前の水準には戻らず、引き続き伸び悩んでいる様子が確認されています。
- 円安・物価高の影響については、水道光熱費・食料費といった生活に欠かせないモノの価格上昇を背景として、消費抑制・節約志向の急激な高まりが確認されています。既に景況感へのマイナス影響が顕在化している様子も景気モニターの声から幅広い業種にて確認されています。
- 「全国旅行支援」の利用状況については、「利用したい」と回答された景気モニターが36.1%確認されており、コロナ感染や資金不足を理由に「利用しない」と回答された24.8%の方も含め、制度自体のわかりやすい説明が今後の利用拡大のカギであることが分かっています。
- サイバーセキュリティについては、実際に被害に遭われた景気モニターも確認され、サイバー攻撃が身近に迫っていることが確認されています。



1. 調査期間：令和4年11月7日～30日

2. 調査客体：300名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：238名 / 有効回答率：79.3%

3. 調査項目：
 ・2～3ヶ月前に比べ現在の景気はどう変化したと感じますか？ ⇒ 現状判断DI
 ・2～3ヶ月前先の景気は現状に比べどう変化すると予想しますか？ ⇒ 先行き判断DI
 ・現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断DI

<問い合わせ先>

豊田商工会議所：谷川

0565-32-4594

豊田信用金庫：高橋

0565-36-1384

4. DI算出方法：

| 評価段階 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------|---------|-----------|-------|-----------|---------|
| 現状判断 | 良くなっている | やや良くなっている | 変わらない | やや悪くなっている | 悪くなっている |
| 先行き判断 | 良くなる | やや良くなる | 変わらない | やや悪くなる | 悪くなる |
| 水準判断 | 良い | やや良い | どちらでも | やや悪い | 悪い |
| 付与点数 | 1 | 0.75 | 0.5 | 0.25 | 0 |

各判断項目毎に、評価段階別の回答者数構成比（100%比）を出し、その構成比に上記の付与点数を掛け、合計します。それがDI値です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、家計、企業、雇用の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）に準じて、豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協働し半年に1回（5月/11月）実施しています。また、家計は小売、飲食、サービス、住宅、企業は製造、非製造業から構成しています。なお、本調査では別に「特別調査」を実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

現状判断

総括

総合DI (豊田) やや悪化



●前回は

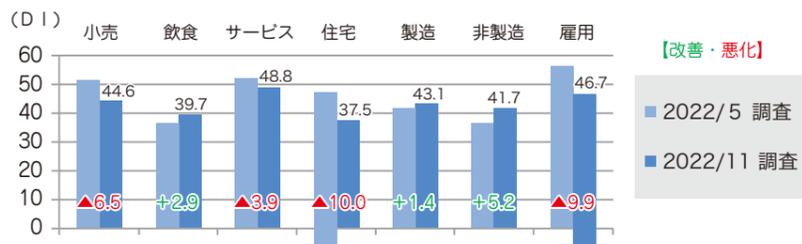
- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

●全国は

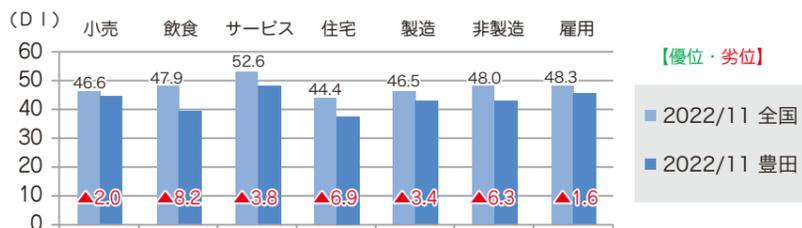
- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

業種別内訳

自動車産業の先行き不透明感もあり、雇用の景況感が大幅に悪化。

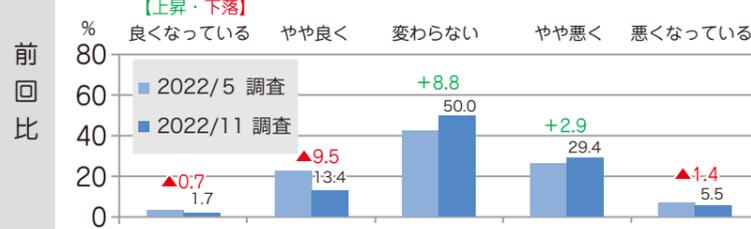


コロナ8波・物価上昇による節約志向により飲食が大幅に悪化。

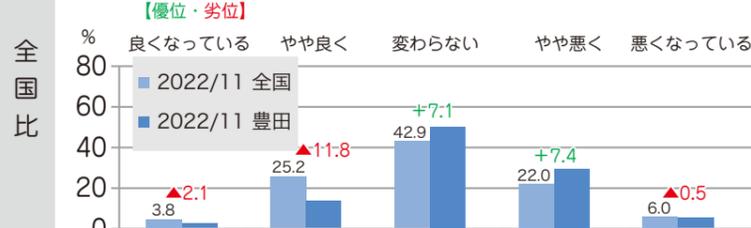


評価段階別内訳

“悪化”傾向の回答へのシフトが見られる。



“やや良くなっている”が際立って全国比少ない。



景気モニター生の声

< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : 全国旅行支援や、豊田市独自のとよた宿割など、補助金事業の実施に伴い、宿泊需要が喚起されており、稼働は昨年より確実に増えつつある。
(家：都市型ホテル従業員)
- + : タクシー、貸切バスの利用が緩やかに増えている。
(家：タクシー運転手)
- + : 前期に比べ受注が2割ほど増の予定。選別受注もできそう。
(企：建設業経営者)
- : 物価高の影響はお客様は敏感。全ての商品が値上がりしていますので、値決めが難しい。他店との価格競争も避けられない状況。電気代の高騰はボデーフローのように経営を困難にしている。
(家：スーパー店長)
- : 常連様のお酒の杯数が減っている。飲むお酒の種類もリーズナブルなものを好まれる。(家：飲食店経営者)
- : 仕入れ価格・水道光熱費・人件費上昇傾向にあるが、販売価格の値上げが完全にできていない。
(企：食品製造業経営者)
- : インフレ物価高、半導体不足による生産調整が依然続いており未だ目途がたっていない。
(企：金属製品製造業従業員)

先行き判断

総合DI (豊田) やや悪化



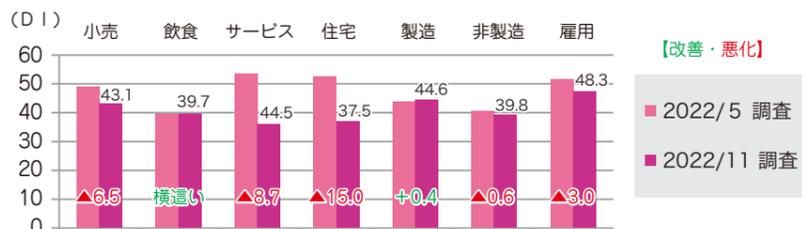
●前回は

- ・総合：不変 (曇→曇)
- ・家計：不変 (曇→曇)
- ・企業：不変 (曇→曇)
- ・雇用：悪化 (晴→曇)

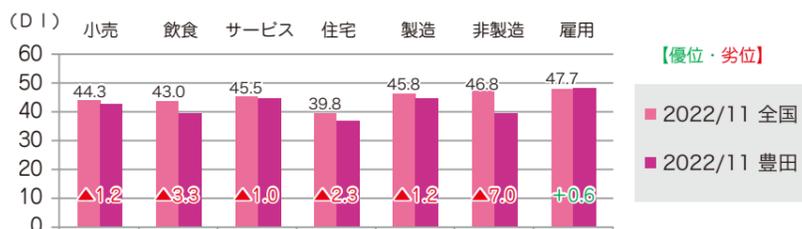
●全国は

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：良化 (劣位→優位)

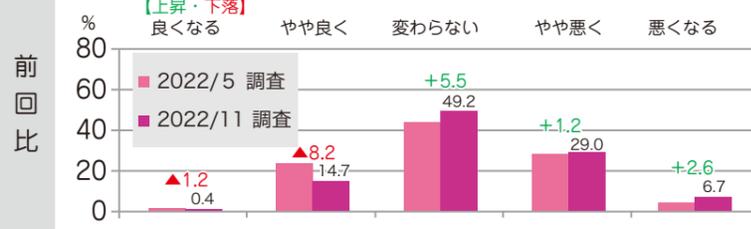
家計部門において物価高の影響を理由に消費低迷が強く懸念されている。



燃料費高騰・半導体不足を理由に非製造業が大幅に悪化。



“悪化”傾向の回答へとシフトが見られる。



全国比で“やや悪化”が多く、先行き慎重な見方を継続。



< + : 回復感あり - : 回復感なし >

※家計動向=家、企業動向=企、雇用関連=雇、と略

- + : コロナ感染状況(重症者数の減少など)や入国条件の緩和によるインバウンドの復活を期待。
(家：観光名所従業員)
- + : 全体を見て大口案件の仕事量がある。
(企：電気機械製造業経営者)
- + : 行動制限の緩和による消費の増大に伴い、製造業における増産が見込める。
(雇：職業安定所職員)
- : 物価高騰による買い控え。(家：衣料品販売従業員)
- : 半導体不足により新車登録できず、中古車の高騰により販売台数が伸び悩む。(家：自動車販売経営者)
- : 物価上昇と色々な部品不足の為、製造業には厳しい状況が続いていくと思う。(企：金属製品製造業従業員)
- : 急激な円安の影響、人手不足と人件費高騰を懸念。
(企：輸送用機械製造従業員)
- : エネルギー価格等の高騰、増税、年金の減額。
(企：司法書士)
- : 市内の業者物件が少ない。業者の高齢化もある。
(企：不動産業経営者)
- : 新型コロナウイルス感染症拡大を懸念。
(雇：職業安定所職員)

総合DI (豊田) やや悪化



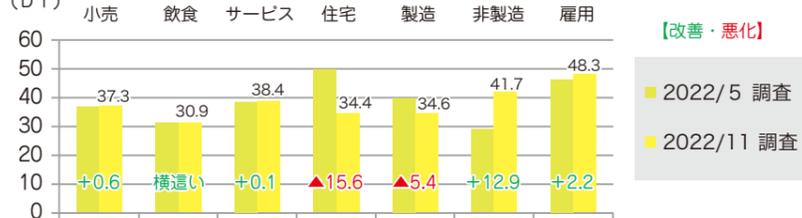
●前回は

- ・総合：不変 (雨→雨)
- ・家計：不変 (雨→雨)
- ・企業：不変 (雨→雨)
- ・雇用：不変 (曇→曇)

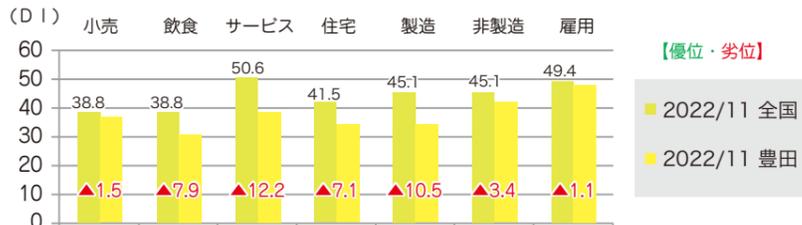
●全国は

- ・総合：不変 (劣位→劣位)
- ・家計：不変 (劣位→劣位)
- ・企業：不変 (劣位→劣位)
- ・雇用：不変 (劣位→劣位)

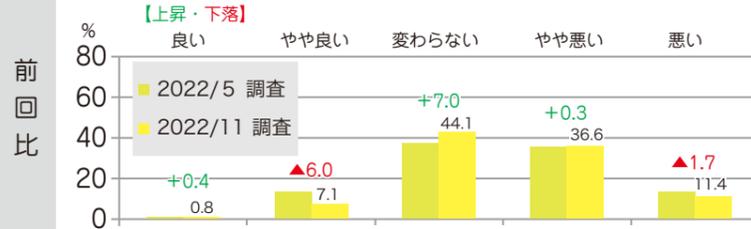
物価上昇により高価格の住宅部門に非常に大きな景況感の悪化を確認。



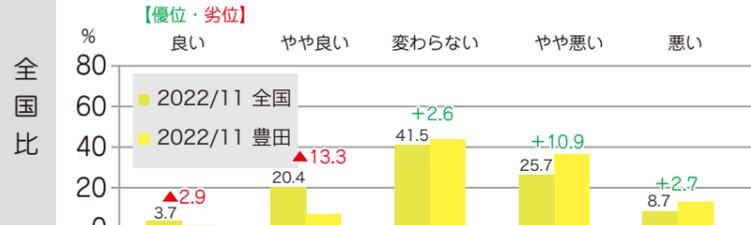
全ての業種において足元の景況感は全国比大きく劣位を継続。



“やや良い”から“変わらない”へ悪化シフトが見られる。



全国比、足元の景況感は悪い方向の回答が極めて多い。



自由回答：景気モニターからの貴重な声

- ・豊田市民の市外への買い物流出を食い止めてほしい。
- ・WRCが開催され、世界に紅葉の中を走るラリーカーが配信された。来年からどのくらい訪日する外国人が増えるのかが関心がある。
- ・政府には、世界一脆弱だと言われている情報セキュリティに力を入れてもらわないとマイナンバーカードの登録が心配。
- ・期限付きで良いので消費税を減額すべき。エネルギーについても期限付きで減税すべきでは。
- ・全国旅行支援・とよた宿割で来客数が増えてきました。今後も継続してほしい。
- ・コロナ禍後の対策、補助金などの情報が少ないように思う。商工会に対しては、プレミアム商品券を再度やってほしい。
- ・新しい産業を生み出す若い世代が少ない。人口減少、出生数の減少が気になる。出生率が上がっても母数は減っているのが気がかりです。
- ・豊田市からの公共工事が減少してきているので先行きが心配である。

～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

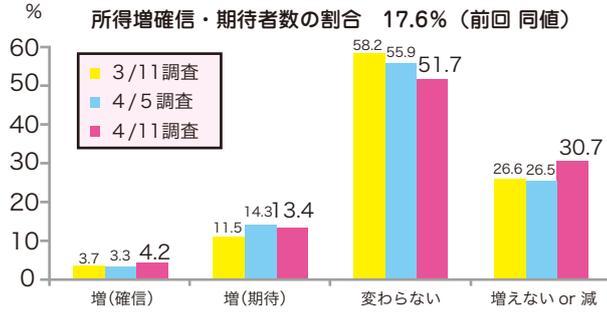
水準判断

【特別調査】

所得見通し※ 消費意欲の調査

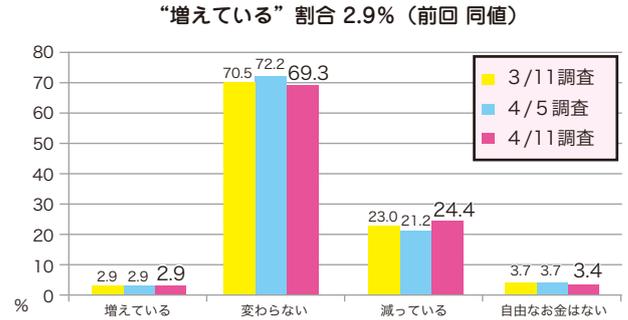
※平成24年から調査を継続しています。

今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増への期待感実質賃金の伸び悩みと比例し、低位推移の様相。長引く「コロナ禍」に加え、急激な物価高が相まって、所得増への期待感はやや減退し、「増えない or 減る」との回答割合が増加しています。残念ながら経済の好循環の実現に向けては、足踏み状態の様子です。

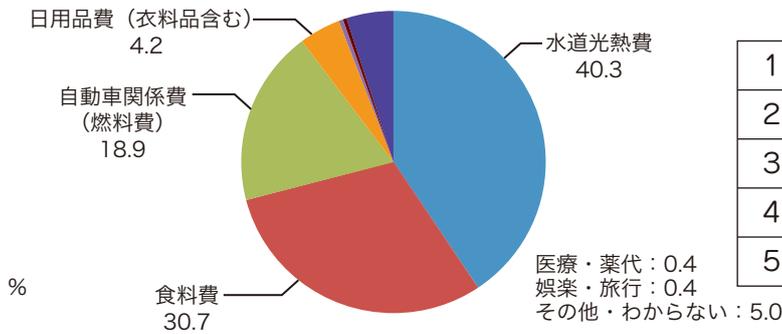
自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？



「お小遣い」が減っているとの回答が増加（前回比3.2p）消費活動に直結する「お小遣い」については、減っているとの回答が増加し、伸び悩む所得に追い打ちをかける物価高が「お小遣い」の増減に影響していることが確認できる調査結果となっています。

円安・物価高に関する調査

最も値上がりを実感されている支出項目



最も値上がりを実感されている個別商品など

※頂いたコメント数から順位をつけました。

| | |
|----|----------|
| 1位 | 電気・ガス代 |
| 2位 | ガソリン・軽油代 |
| 3位 | 野菜 |
| 4位 | 食用油 |
| 5位 | 肉類 |



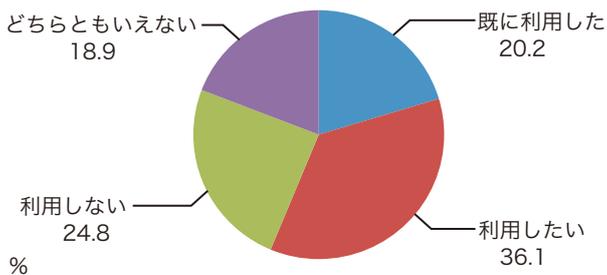
| 【その他】 |
|----------|
| iPhone |
| 住宅 |
| 海外通販 |
| カップ麺 |
| 肥料・農業用資材 |
| コーヒー豆 |

景気モニターから寄せられた値上がりに関する声をご紹介します。

- 業務用電力の高騰で収益が相当圧迫されている。
- 今までと、ほぼ変わらない内容のものを買い続けているのに、ひと月の食費金額が増えている。
- 電気、ガス代が倍くらいに上がった。
- 小麦を使用した食品の値上がりや内容量の減少を実感しています。
- 食品品全てで値上がりしており、負担が増加している。
- お歳暮の価格が昨年よりも100円以上値上がりしていた。
- 調理用揚げ油が毎月のように千円単位で値上がりしている。
- 自動車が新車予約待ち。中古車5割値上がりと言われ思案している。

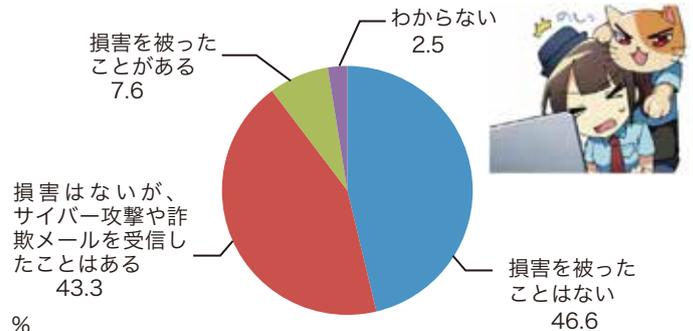
あらゆるモノの価格が上がっており、消費抑制・節約志向の急激な高まりが懸念され、既に顕在化している様子も、景気モニターの声から幅広い業種にて確認されています！

10月から開始した旅行需要喚起策「全国旅行支援」の利用状況を調査



「利用しない」理由として、①コロナ感染、②資金/時間不足、③制度自体がわかりにくい、といった声が寄せられています。①と②は直ちに解決できませんが、③については、行政による丁寧な説明があれば「旅行需要」の一層の活性化に繋がっていくものと期待できます。

サイバーセキュリティに関する調査



近年高まり続けるサイバー攻撃の脅威に関して、景気モニターの中でも「ランサムウェアによるサーバーのダウン」や「クレジットカードの不正利用」、「通信販売での詐欺被害」が確認されています。主な対策としては、不審なメールやサイトは開かない、セキュリティソフトの導入といった内容を回答されています。サイバーリテラシーの向上が引き続き求められます。